

2012年12月28日

イノベーションが進む中国半導体照明市場

CCID(賽迪顧問)の調査では、中国政府の政策による後押しで半導体照明の製造コスト削減や発光効率などの技術がどんどん進むなか、従来型照明のLEDへの置き換え効果で半導体照明のニーズが大いに刺激されていることが明らかになっている。2011年の半導体照明の市場規模は前年同期比32.6%増の211億4千万元であった。従来型照明が半導体照明に置き換えられることで新たな巨大市場が生まれ、中国の半導体照明市場はこの先数年間、安定した高成長を維持するものと見られる。

図1 2008-2011年の中国の半導体照明市場の規模及び伸び率

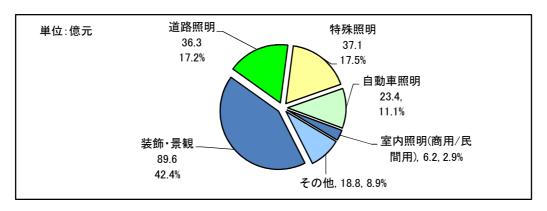


データ出展: CCID(賽迪顧問) 2012, 10

[■]電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。



図2 2011年の中国半導体照明の応用の構成



データ出展: CCID(賽迪顧問) 2012, 10

1、2011年の半導体照明市場の特徴

(1) 国による新政策が大規模な進展を後押し

科技部は2011年の「国家『第12次五カ年計画』科学・技術発展計画」で、中国国内の汎用照明市場における半導体照明のシェアを2015年には30%以上とするよう求めた。生産額は5000億元を見込み、中国の半導体照明産業の世界トップ3入りを目指すとした。

(2) 合弁企業主導が続くハイエンド応用市場。中国本土企業の競争力は向上

自動車LED照明、汎用LED照明などのハイエンド応用市場では現在、欧米や日本、台湾のメーカーが主導する状態が続く。一方、製品技術水準の進歩や、企業規模の拡大に明らかなように、本土の企業は長年の積み重ねにより競争力を急速につけている。

(3) 整備が待たれる業務発展モデル及び関連規格

ここ数年の中国のLED街路灯開発は市場の予測から大幅に遅れている。LED道路照明は主に 政府のモデルプロジェクトでの購入に頼っており、政策依存度が高い。市場が健全な発展を続け られるか否かは、市場環境の整備や業務発展モデルの成熟にかかっている。また、中国半導体 照明市場はなお発展初期にあり、競争も構造化されておらず、しっかりとした製品検査規格の確 立も待たれる。

(4) 上場融資、統合・M&Aを通じた企業の急成長

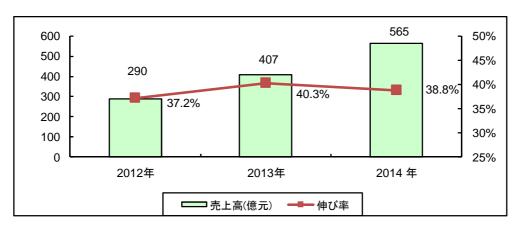
半導体照明市場の大きな発展性を頼りに、2011年、中国のLED企業は株式流通量の見直し・ 上場のピークに至った。同時に、産業チェーンをつなげ、同業他社との連携を強め市場をリードし ようと、LED業界では強者連合、M&A、内部統合の嵐が起きている。

[■]電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。



2、今後の見通し

図3 2012-2014年の中国半導体照明市場の規模及び伸び率の予測



データ出展: CCID(賽迪顧問) 2012, 10

(1) 灯具のコスト低減が半導体照明発展のカギ

現在、半導体照明灯具普及の足を引っ張っている最大の課題の一つがコストである。灯具製品では電源、放熱、レンズといった周辺部品を後押しする必要があり、製品コストの低減には周辺部品のコスト低減も同様に重要である。また、室内照明には色温度や演色性が極めて重視されるため、光の質の改善も室内照明において半導体照明灯具を伸ばすカギである。

(2)製品は多元的領域へ

半導体照明の応用はシンプルな装飾照明から高出力の都市景観照明や都市街路照明、自動車照明、工業照明を中心とした機能性照明製品へと向かいつつある。また、鉱山安全灯、半導体製造用照明、低温用照明、紫外線消毒、医療用照明など特殊で個別的な領域向けの照明にも優れたLED光源が使われるようになっている。

(3) 急速な伸びを見せる高出力型、表面貼り付け型LEDのニーズ

機能型照明市場の勃興に伴い、高出力型及び表面実装型LED製品のニーズが急速に伸びている。また、自動車灯製品に占めるLEDの割合が伸び続けていることも同LED産業のニーズを牽引している。

(4) 小型化・集積化が続く半導体照明製品

電子製品の小型化、低エネルギー消費化はすでに避けては通れないため、端末製品メーカーは各種デバイスの小型化を追求している。LEDも例外ではない。

[■]電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。



賽迪顧問股份有限公司(CCID)のご紹介

CCIDは、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。各国の企業に対し、市場調査やマーケティング戦略・販売チャナルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。現在は北京本社のほか、上海や広州、深センに支社、日本や米国、韓国、イタリヤに事務所を置いてあり、世界的に高い知名度を誇っています。

中国市場調査サービス



中国市場調査レポート

中国市場の今を知る 最新マーケティングレポート



中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの 定期配信サービス



中国市場受託調査

政府系コンサル企業による ニーズ・目的に応じた調査 2011-2012 年版中国市場調査レポートを 4月1日より販売開始。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/report.html

ご希望分野のデータを定期的にお届けする サービスです。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/data.html

調査地域・分野を問わず、お客様固有の ニーズに合わせて実施するカスタムリサー チサービスです。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/custom.html

[■]電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。